新庄市議会だより

No.151
2021.2.9

12月定例会の議案等……P2～P3
各委員会報告……P4
議員提出による決議案と議会案を可決…P5
一般質問……P6～P10

新庄市立明倫中学校閉校記念事業
「金澤翔子書道パフォーマンスと講演」
令和２年10月29日（木）明倫中学校体育館にて

10月臨時会の経過

一般会計補正予算案を可決、人事案件に同意し、閉会した。

10月臨時会で審議された議案

（10月30日）

種類	番　号	件　　名	結果
【市長提出】			
議案	第104号	令和２年度新庄市一般会計補正予算（第８号）	可決
	第105号	新庄市農業委員会委員の任命について	同意

11月臨時会の経過

13日および30日において、それぞれ議案１件を可決し、閉会した。

11月臨時会で審議された議案

（11月13日）

種類	番　号	件　　名	結果
【市長提出】			
議案	第106号	明倫学園体育館棟建設工事の内建築工事請負契約の締結について	可決

（11月30日）

種類	番　号	件　　名	結果
【市長提出】			
議案	第107号	新庄市一般職の職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例について	可決

12月定例会の経過

12月定例会初日、人事案件１件に同意し、タブレット型端末の取得にかかる議案１件を可決した。最終日には条例の一部改正及び補正予算など19件を原案のとおり可決、請願２件については不採択とした。また、追加提案された一般会計補正予算１件、決議案１件、議会案１件を原案のとおり可決し、閉会した。

12月定例会で審議された議案等

種類	番　号	件　　名	結果
【市長提出】			
議案	第108号	令和２年度新庄市一般会計補正予算（第９号） チョイス①	可決
	第109号	令和２年度新庄市国民健康保険事業特別会計補正予算（第３号）	可決
	第110号	令和２年度新庄市介護保険事業特別会計補正予算（第２号）	可決
	第111号	令和２年度新庄市後期高齢者医療事業特別会計補正予算（第２号）	可決
	第112号	令和２年度新庄市下水道事業会計補正予算（第２号）	可決
	第113号	新庄市表彰について	同意
	第114号	財産の取得について	可決
	第115号	新庄市市税条例の一部を改正する条例について	可決
	第116号	新庄市国民健康保険税条例の一部を改正する条例について	可決
	第117号	新庄市地域経済牽引事業の促進のための固定資産税の課税免除に関する条例の一部を改正する条例について	可決
	第118号	延滞金の割合の見直しに伴う関係条例の整備に関する条例について	可決
	第119号	新庄市立図書館の管理を行わせる指定管理者の指定について	可決
	第120号	新庄市民プラザの管理を行わせる指定管理者の指定について	可決
	第121号	新庄市体育館等の管理を行わせる指定管理者の指定について	可決
	第122号	新庄・最上さくらが丘斎苑の管理を行わせる指定管理者の指定について	可決
	第123号	新庄市萩野児童センターの管理を行わせる指定管理者の指定について	可決
	第124号	新庄市升形児童館の管理を行わせる指定管理者の指定について	可決
	第125号	新庄市中小企業緊急災害等対策利子補給基金条例について	可決
	第126号	新庄市道路占用料徴収条例の一部を改正する条例について	可決
	第127号	新庄市法定外公共物管理条例の一部を改正する条例について	可決
	第128号	最上圏域下水道共同管理協議会規約の変更について	可決
	第129号	令和２年度新庄市一般会計補正予算（第10号） チョイス②	可決
【議員提出】			
決議案	第１号	誹謗中傷をなくし共に支えあうことにより新型コロナウイルス感染症の克服を目指す決議について	可決
議会案	第５号	最上地区県立高校再編に関する意見書の提出について	可決

議案及び請願に対する議員の賛否

賛否の分かれた議案等をお知らせします。　○→賛成　●→反対

議案等番号	会派名	市民・公明クラブ					起新の会				絆の会					勁草21		会派に属さない議員	採決結果
		山科 正仁	小野 周一	髙橋富美子	佐藤 卓也	佐藤 文一	石川 正志	小嶋 冨弥	山科 春美	庄司 里香	奥山 省三	新田 道尋	下山 准一	今田 浩徳	押切 明弘	八鍬 長一	叶内 恵子	佐藤 悦子	
議案第106号	明倫学園体育館棟建設工事の内建築工事請負契約の締結について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○	●	●	可決
請願第3号	国に対し「消費税5%以下への引き下げを求める意見書」の提出を求める請願について	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	－	●	●	○	○	○	不採択
請願第4号	新型コロナウイルス感染症拡大の影響に伴う米価対策等に関する請願	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	●	－	●	●	○	棄権	○	不採択

- 議長は採決に参加しません。
- 原案のとおり採決することについての賛否をはかっています。（新庄市議会会議規則第７０条：可をもって諮ることを原則）

チョイス①

Q. ふるさと納税寄附金について、これまでの寄附件数、寄附用途6項目の内訳、又返礼品のTOP3を伺う。

A. 11月末で9万275件、約9億4800万円の寄附があり、寄附用途6項目の内訳は産業の振興に関する事業が4・13%、医療や福祉の充実に関する事業が11・76%、教育、文化、スポーツの振興に関する事業が4・95%、社会生活基盤の充実に関する事業が1・13%、環境の保全に関する事業が3・07%、地域づくりに関する事業が1・15%、指定なしが73・62%である。返礼品のTOP3は1位が米で90・26%、2位が牛肉で5・24%、3位が革製品で1・01%であった。

チョイス②

Q. コロナ対策として、ひとり親家庭への補助について、一世帯当たりの助成額について伺う。

A. ひとり親世帯臨時特別給付金として一世帯当たり5万円、第2子以降は一人につき3万円の給付を行う。

請願の審議結果

件名	請願者	紹介議員	結果
国に対し「消費税5%以下への引き下げを求める意見書」の提出を求める請願について	新庄市金沢2484　新庄民主商工会 会長　安食　輝敏	叶内　恵子	不採択
新型コロナウイルス感染症拡大の影響に伴う米価対策等に関する請願	新庄市十日町693 五十嵐　成生	佐藤　悦子	不採択

3月定例会の予定

2月18日(木) 請願締切
3月　3日(水) 開　会
　　4日(木) 一般質問
　　5日(金) 一般質問
　　8日(月) 常任委員会
　　9日(火) 常任委員会
　　10日(水) 予算特別委員会
　　11日(木) 予算特別委員会
　　12日(金) 予算特別委員会
　　17日(水) 最終日

中継あり（3日～5日）
中継あり（10日～17日）

開会は10時です　◇請願は随時受け付けております。

議会傍聴について

新型コロナウィルス感染拡大の影響が収束するまでの間、議会の傍聴の案内については、議会事務局にお問合せください。また、ホームページでも随時更新しておりますので、ご確認ください。

市議会インターネット中継

ウェブサイトで検索　新庄市議会　中継　検索

人事案件

10月30日（臨時会）及び12月4日（定例会初日）に同意された人事案件をご紹介いたします。

◎農業委員会委員

早坂　浩樹　氏

◎新庄市表彰

清水　清秋　氏
本澤　昌紀　氏

※委員・表彰は議案順に掲載しています。

ようこそ議場へ

萩野学園６年生が議会の傍聴に訪れました！

※９月10日に10時から11時まで傍聴いただきました。
傍聴時は一般質問が行われました。

児童からは「真剣に市の事を考えて激しい討論をしていることに驚いた。」「ＧＩＧＡスクール構想や新型コロナのことといった自分たちに関係あることが話し合われていて、議会を身近に感じた。」といった感想がありました。

各常任委員会の報告

総務文教常任委員長

12月9日全員出席のもと総務文教常任委員会を開催した。当委員会に付託された案件は、議案7件、請願1件である。

議案第115号「新庄市市税条例の一部を改正する条例について」、議案第116号「新庄市国民健康保険税条例の一部を改正する条例について」、議案第117号「新庄市地域経済牽引事業の促進のための固定資産税の課税免除に関する条例の一部を改正する条例について」、議案第118号「延滞金の割合の見直しに伴う関係条例の整備に関する条例について」、議案第119号「新庄市立図書館の管理を行わせる指定管理者の指定について」、議案第120号「新庄市民プラザの管理を行わせる指定管理者の指定について」及び議案第121号「新庄市体育館等の管理を行わせる指定管理者の指定について」は質疑の結果、全員異議なく可決すべきものと決した。

続いて請願第3号「国に対し「消費税5％以下への引き下げを求める意見書」の提出を求める請願」については、紹介議員及び税務課の職員の出席を求め、審査を行い議員間で討議をした後採決した結果、賛成少数で不採択すべきものと決した。

産業厚生常任委員長

12月10日全員出席のもと産業厚生常任委員会を開催した。当委員会に付託された案件は、議案7件、請願1件である。

議案第122号「新庄・最上さくらが丘斎苑の管理を行わせる指定管理者の指定について」、議案第123号「新庄市萩野児童センターの管理を行わせる指定管理者の指定について」、議案第124号「新庄市升形児童館の管理を行わせる指定管理者の指定について」、議案第125号「新庄市中小企業緊急災害等対策利子補給基金条例について」、議案第126号「新庄市道路占用料徴収条例の一部を改正する条例について」、議案第127号「新庄市法定外公共物管理条例の一部を改正する条例について」及び議案第128号「最上圏域下水道共同管理協議会規約の変更について」は質疑の結果、全員異議なく可決すべきものと決した。

続いて請願第4号「新型コロナウイルス感染症拡大の影響に伴う米価対策等に関する請願」については、紹介議員及び農林課の職員の出席を求め、審査を行い議員間で討議をした後採決した結果、賛成少数で不採択すべきものと決した。

わかりやすい議会報を目指して

去る11月12日（木）山形県市議会議長会主催による議会報研修会に編集委員6人で参加して参りました。毎年県内13市の議会報編集委員が一堂に会し、研修会が開催されております。本年の開催市が尾花沢市で、研修会では山形新聞社尾花沢支社長が「これからの議会報づくり」という事で講話を戴きました。スマートフォンの普及に伴って新聞が読まれなくなってきた現代、いかに読者に読んでもらうためには、一方通行の情報発信ではなく、読者が知りたい情報を伝えることが大切だということを伺いました。また、わかりやすい議会報を作るために「見出しのつけ方」「文字を少なくし余白をつくる」など各市議会の議会報をチェックして指導を受けました。今後も、このような研修を受けながらよりわかりやすい議会報を目指して改善してまいります。ぜひ、ご意見をお寄せください。

議員提出による決議案と議会案を可決しました

決議案第１号　排撃中傷をなくし共に支えあうことにより新型コロナウイルス感染症の克服を目指す決議

現在、新型コロナウイルス感染症は、全国的に急速な感染拡大が進んでおり、山形県内においても11月から感染者が急増しています。その中にあって、新庄市民は、感染拡大の防止に細心の注意を払いながら、社会経済活動の両立に向け、懸命に取り組んでいます。

こうした状況の下、感染者やその家族、学校や勤務先、医療・福祉関係者等に対しＳＮＳ等の媒体による匿名での心ない誹謗中傷や、間違った情報の拡散、感染症に対する不安や恐れから感染者や感染経路を詮索する事例などが発生していることは憂慮すべきことです。

これらの行為は、偏見による不当な差別であり、人権擁護の観点からも看過できません。また、コロナ禍を契機として、新庄市民が永い間培ってきた「思いやり」や「やさしさ」という人と人との結び付きの根幹を失ってしまうことは、大きな損失であり、何としても防がなければなりません。

新型コロナウイルスは、気づかないうちに誰もが感染する可能性があります。今、私たちが行うべきことは、感染防止策の徹底であって感染者を誹謗中傷することではありません。医療・福祉従事者をはじめ多くの方が困難な状況の中で頑張っています。今こそ、私たち一人ひとりが、共に支えあうことが何より大切なことです。

よって本市議会は、誹謗中傷の根絶を目指すとともに、新型コロナウイルス感染症に関する諸課題に真摯に取り組んでまいりますので、市民の皆様におかれましても、共に支えあいながら、この困難を乗り越えてまいりましょう。

以上、決議する。

令和２年12月15日　　新庄市議会

決議とは
議会が行う事実上の意思決定行為のうち、市議会の意思を広く対外的に表明することが必要だと考えたものを議決することです。内容は、地方公共団体の公益に関する限り可能です。

かむてん© 新庄市 × 冨樫義博

議会案第５号　最上地区県立高校再編に関する意見書

県教育委員会は、最上地区の県立高校の再編整備に係る検討委員会の報告書を踏まえ、平成24年３月に、最上地区の県立高校再編整備計画を作成し、中長期的な方向性を示した。令和２年は、第６次山形県教育振興計画期間の半ばになることから、最上地区の高校所在の１市３町における地域説明会や８市町村からの意見聴取を実施し、再編整備に関する基本方針の改定を踏まえながら検討を進めている。この度、具体的な高校配置の二つの案を併記した骨子案をまとめ、令和３年３月に最上地区の県立高校再編整備計画（第２次計画）を策定する予定としている。この再編において、敷地・校舎は県立新庄北高等学校を活用しようとしているが、校舎が狭いことや築50年近く経過し配管や壁など施設の老朽化が著しいこと、最寄り駅から離れた場所に位置していることから通学に不便など施設面で課題が生じている。

さらに、統合した新高校は地域と連携を含め、新庄市のまちづくりにも大きな影響を及ぼすことになることから新庄市としての検討が必要となります。

以上のことから次の事項を要望します。

記

1．高校再編にあたっては、教育環境の向上を図ることが重要であり、新校舎を含めて検討すること
2．新高校は進学校としての機能を強化するため、研究科など複数の学科を設置すること
3．教員の配置については、生徒の定数やクラス数によらず、十分に確保すること
4．高校再編は、新庄市のまちづくりに大きな影響をもたらすものであり、県立高校再編整備計画（第２次計画）にあたっては新庄市の意見を反映させること

以上、地方自治法第99条の規定により提出する。

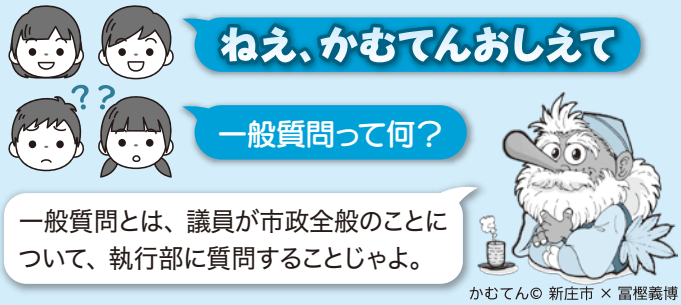
提出先　山形県知事　宛
　　山形県教育委員会教育長　宛

意見書とは
地方公共団体の公益に関する事件に関して、議会の意思を意見としてまとめた文書のことで、議会は可決された意見書を国会や関係行政庁に提出することができます。

かむてん© 新庄市 × 冨樫義博

一般質問

一般質問は、12月７日と８日の２日間、９名の議員が行いました。
質問の項目及び要旨は、質問者の通告原稿に基づき掲載しています。



12月定例会一般質問の質問者と質問事項

小嶋　冨弥
1．来年度の予算編成について
2．行政手続きの拡充について
3．エコロジーガーデンについて

山科　春美
1．自殺防止対策について
2．障がい者に優しいまちづくりについて（仕事の創出と拡大について）

石川　正志
1．今後の「人・農地プラン」の進め方について
2．多面的機能支払制度について
3．若者の創業（起業）支援について

佐藤　卓也
1．観光戦略について

庄司　里香
1．市民のくらしについて
2．子育て世帯の要望について
3．本市のイベントについて

押切　明弘
1．消防団組織のあり方について
2．大型公共施設の移転に伴う、跡地利用と街づくりについて

叶内　恵子
1．農林環境の保全について
2．将来に残すべき宝としての「新庄の自然」について

佐藤　文一
1．新型コロナウイルス感染症第３波への対策について
2．令和３年度「新庄まつり」新庄市の考え方について
3．新庄市内保育施設の今後について

佐藤　悦子
1．新型コロナウイルス感染拡大第３波にどう歯止めをかけるかについて
2．北辰小を北辰地域交流センターとして転用し、活用について
3．新型コロナ対策と財源確保について
4．入札制度について

急げ、行政手続のデジタル化

小嶋冨弥　議員

◎変革する時代、地域社会と住民サービスと職員の業務円滑に向けたデジタル化を進め、脱ハンコ行政を進め、市で発行する証明書をコンビニでも交付出来るシステムの構築を。

市長　デジタル化の推進に当たっては、今後、国や県の動向を把握しながら、地域社会、住民サービス、庁内業務という方向から、本市のデジタル化における課題を検証し計画的に取り組む予定である。また、記名押印を求める理由には、民事訴訟法の視点もあるため、検討を加えながら押印の見直しを積極的に推進していく。コンビニ交付サービスについては、新型コロナウイルス感染症対応を含め、国の動向に注視しながら、新庄市情報化計画の中で検討していきたい。

◎エコロジーガーデンの北側エリアの活用計画について昨年12月定例会で一般質問した。実施計画に着手したいと答弁されたが進捗が見えない。再度今後の考えを伺う。

市長　北側エリアの敷地を十分に活用するため、具体的に何をどこに配置するか、南側エリアや周辺の自然環境等との連携をどう図るかは大変重要な検討事項である。その判断の参考として、計画内容をより具体化するための調査を工学院大学に委託しており、２月下旬頃に調査書が納品予定である。なお、北側やその周辺の自然環境等を活かした整備が可能かも含め、絵図面等も作成してもらう委託内容である。第１期の耐震改修工事が今年度で終了するので、調査書の内容を精査し、残りの蚕室改修よりも先に北側エリアや外構等の整備に着手したい。

市発行の各種証明書のコンビニ交付

誰にでも優しいまちづくりを目指して

山科春美 議員

◎新型コロナウイルスの感染が拡大する中、国内の自殺者が7月以降全国的に増加している。特に、女性と未成年者の増加率が顕著である。コロナ禍という特殊事情において、自殺防止に対する対策を伺う。

市長　自殺対策の推進に係る活動では、「自殺対策推進会議」の開催のほか、ゲートキーパーも養成している。関係機関からは経済的な相談件数が増えているとの情報もあり、今後の自殺対策では様々な背景や要因に対応できるよう、関係機関との連携をこれまで以上に強化していく。

教育長　本市では「いのちの尊厳を根底に据えた心の教育」を学校教育の重点としており、授業のほか、あらゆる場面で、自分や他者を大切にし、自尊感情が高まるよう指導している。また、定期的にアンケートをとり、さらに相談があればじっくり話を聴いて対応するよう努めている。今後も一人一人に寄り添い、安心して学校生活を送ることができるよう支えていく。

◎障がい者にやさしいまちづくりを目指す一環として、障がい者の社会進出の支援の一翼を担うための仕事の創出と拡大について伺う。

市長　一般の就労が困難な障がい者が働く就労支援事業所では、印刷や縫製、木工等様々な製品づくりを行なっており、マスク不足の時期にはいち早く布マスクの製作に取り掛かるなど、状況に応じて取り組まれている。市としても応援していかなければならないと考え、印刷物等の発注や、ふるさと納税返礼品への登録等で利用を進めてきた。今後も就労支援事業所等への業務委託等、積極的な活用を図っていく。

チャレンジできる環境整備を!!

石川正志 議員

◎多面的機能支払制度の長寿命化部分で、交付金が2年連続で約70％となる見込みになっている。今後の対応をどうするのかを伺う。

市長　多面的機能支払交付金制度のうち、資源向上支払交付金の長寿命化に関しては、今年度は約70％の交付率で、当初の計画どおりに交付されない状況である。市としては、各組織とのヒアリングを行いながら、交付額の範囲内での計画変更等の相談、手続きを進めていく。また、県を通じ国に対しても申請どおりの交付となるよう要望していく。昨今の自然災害が発生した場面でもこの保全会組織が積極的に活躍されているので、より円滑に活動が行えるよう連携して対応する。

◎国の制度を活用し、中心商店街に拠点を整備し、起業を目指す若者への新たな支援が必要と考えているが、市長の考えを伺う。

市長　市では、商業地域内にある空き店舗を活用して新たに出店する事業者に対して補助を行っており、中心市街地の賑わいづくりの一助とすることができたと思う。各商店街に満遍なく出店されていると感じているが、家賃助成等の要望もあり、今後の課題と捉えている。

今後の新規出店者への支援のあり方として、歴史まちづくり法を活用した事業展開を検討している。同法は「歴史」という大きな視点からまちづくりを行うための法律であり、自ずと対象となり得る事業の幅が広がるため、その骨子となる歴史的風致維持向上計画の策定にあたっては、この点も十分考慮し、幅広い議論を行っていく。

多面的機能支払交付金を活用した工事

これからの観光戦略は？

佐藤卓也 議員

◎アフターコロナ対策を講じた新しい観光戦略を作成する必要があると思うがどのように考えるか。

市長　世界的な新型コロナウイルス感染症の拡大により、観光需要は過去最大規模の減少となっている。どのような手法を用いて観光振興を図っていくべきか、また、コロナ禍に対応する緊急対策、需要回復後を見据えた長期的な視点を併せて検討していく必要がある。今を乗り切る施策を行いながら、様々な施策を進めていきたい。また、観光計画の策定については、庁内でも議論があった。策定している自治体もあるが、現在、本市では第5次総合計画及び総合戦略で位置付け、事業を進めている。アフターコロナを見据えた新しい観光戦略については、第5次総合計画並びに総合戦略を見据えて庁内で検討させていただければと考えている。

◎観光大使の現在の状況と選考基準について伺う。また、最近のキャンプ人気を受けて、エコロジーガーデン北側を冬期間利用し、キャンプ用地として活用してはどうか。

市長　観光大使の現在の状況については、市にゆかりのある方など、かなり著名な方を選定して交渉を重ねたが、かなり苦戦している。現在1名の方の内定をいただいているが、鋭意努力していきたい。

　また、キャンプ需要については、キャンプをしたいという声が若干あり、現在はエリアを限定して実施していただいている事例がある。冬期間も含めた北側の利用については、調査委託内容を含め、今後詰めていきたい。

エコロジーガーデン北側の冬期間の利活用へ

最上公園について

庄司里香 議員

◎本年、ロータリークラブ創立60周年記念事業として新庄藩主の銅像が設置された。本市の観光地としての今後の計画を伺う。

市長　本市では8月に市内宿泊施設の消費喚起キャンペーンを行ったが、今後も市への誘客や市内商店や企業への支援策として、観光面での経済支援対策を検討しなければならないと考えている。今後の観光振興については、第5次新庄市総合計画の中で、最上公園などの既存の観光資源を活かし、新しい観光資源の掘り起こし、また交流人口の受入において様々なコンテンツを用意し、最上地域全体との連携をより図っていくとしている。今年は中止となったイベントも、来年度には可能な限り例年どおりの形態に近づけるように検討し、感染拡大防止対策を取り入れながら開催する方向で、観光客を呼び込めるよう努めたい。

◎冬の子ども達の遊び場の不足が問題視されているが、屋内施設の遊具のあり方などの今後の充実についての考え方を伺う。

市長　運動の活発な、小学校高学年の子どもの遊び場についての要望が多いことは認識している。第5次新庄市総合計画の基本計画では「子どもの遊び場の充実」を施策の一つとしているので、わらすこ広場をはじめ、市内の公園の遊具の整備など、安心して利用できる遊び場の充実を推進する。今年度、わらすこ広場に新しい遊具を設置予定だが、新型コロナウイルス感染症の影響で設置の時期を検討している。設置する際には予防対策を行いながら、利用していただけるよう周知していく。

大型公共施設の跡地利用は街づくりにかかせないもの

押切明弘 議員

◎現在、移転工事が進んでいる県立新庄病院、新庄警察署など跡地利用について早急に関係機関と協議を進めるべきではないか。

市長　県教育委員会から、最上地区の県立高校再編整備計画〈第2次計画（骨子案）〉が示された。この高校再編については、10月に県の教育次長と担当者が説明に来庁された際、まちづくりとの整合性を図っていきたいとの話をいただいている。また、旧新庄工業高校の跡地も利活用されておらず、県立新庄病院、新庄警察署も移転工事が始まっている。最上広域消防本部も移転の検討が始まった。今後、跡地利用については、都市計画マスタープランとの整合性を図りながら、関係機関にも働きかけ、市民の意向等を踏まえ、跡地等の遊休資産や空き家等も活用したまちづくりを進めていきたい。

◎人口減少が進んでいる現状を踏まえて消防団員の定数や班の数の見直しなど組織の改編が必要でないか。

市長　消防団組織は、条例で17分団35部95班、定員1194名と定めているが、団員数は年々減少傾向で推移している。団員の高齢化や班員の欠員等が課題と捉え、環境課事務局や各分団で団員の確保に努めるとともに、女性消防隊による火災予防や地域の防災に関する活動など体制を強化している。また、消防団協力事業所の認定制度を設けており、このような体制をより充実することで、入団促進にも繋がると考える。人口減少社会における団員の欠員や班体制のあり方については、関係機関と連携して考えていきたい。

新庄に残すべき宝はこの自然である

叶内恵子 議員

◎食料・農業・農村基本法制度、土地改良法改定によって策定を義務づけられた田園環境マスタープランは本市の持続可能な農業、農村実現のために重要である。本市は当該プランに基づく環境と調和への配慮をどのように捉え実践しているのか。

市長　環境と調和への配慮としては、事業を計画するにあたり、新庄市環境情報協議会を開催し、地域住民・農業経営者・行政が一緒に調査等を行い、環境に配慮した対策について協議し、計画に反映している。また、日本型直接支払交付金事業では、農地、水、環境の保全と質的向上が図られている。土地改良事業を実施する際は環境に適合するよう配慮し、より良い環境を次世代に引き継いでいけるような農村づくりを行っていく。

◎正に本市の宝である福宮チョウセンアカシジミの保存方法をどのように具体化し後世に引き継いでいくのか。

市長　チョウセンアカシジミは岩手、山形、新潟の一部にだけ生息する貴重な蝶で、山形県指定天然記念物に指定されている。現在、福宮地区住民が中心となり組織した「福宮チョウセンアカシジミを守る会」が地元小学生等と協力し、幼虫のエサとなるトネリコの植樹や生息地の環境整備にあたるほか、定期的な観測と調査を継続している。市では、この会の活動を評価すべく県に推薦し「環境やまがた奨励賞」を受賞するに至った。環境保全の点からも、この会を主体とした保護活動を継続している地域の取組を大事にし、市内外への情報発信を含め、行政のサポートについて検討していきたい。

チョウセンアカシジミは里山で人と共生する蝶です。里山が荒れてしまうとチョウセンアカシジミには生きづらい環境になります。

アフターコロナへの道のり

佐藤文一 議員

◎新型コロナ感染症第3波の中、特に飲食店やその取引先では忘年会等の予約の停止、取消が続き、悲鳴が上がっている。今後、緊急的な経済対策、支援等の考えはあるのかを伺う。

市長　これまでも市独自の経済対策として様々な支援策を展開してきたが、ここにきて新型コロナウイルスの感染が全国で拡大する傾向にあり、市内事業者の経営状況が今後厳しさを増すことが懸念される状況である。市としても何らかの経済対策を追加すべきと考え、国の今年度第3次補正予算の成立後に速やかに市独自の対策を実施できるよう検討している。事業の方法や予算規模、実施時期等の方針が定まり次第お示ししたい。

◎新庄まつりの開催に対し、市民の意向をどう捉え、どう反映させていくのか。又、開催の有無、手法の変更等による予算の増減、配分等、新庄市としての考えを伺う。

市長　市民の皆様のまつりにかける思いは並々ならぬものだと感じている。新庄まつりは市民のおまつりなので、要望等は実行委員会で検討し、まつり運営に活かしたい。また、例年と異なった開催手法の検討や感染症拡大防止対策の議論が不可欠である。予算配分等は実行委員会の決定事項なので、事務局の一翼を担う担当課でも慎重な検討を行っていく。なお、花もらいや露店出店については様々な意見をいただいている。改めて実行委員会で意向調査をする予定はないが、図らずも青年会議所から各世代の意見聴取をしていただいた。その事務局である商工会議所も実行委員会の事務局なので、なるべく反映されるよう検討したい。

新型コロナ感染拡大をおさえるために

佐藤悦子 議員

◎医療機関・介護・福祉施設、保育施設、学校、学童保育などクラスターが発生すれば多大な影響が出る施設等に定期的なPCR検査を。検査費は、全額国の負担とすべきでは。

市長　国から最上保健所管内が感染拡大地域と認定される前に、各施設の入所者や職員に対してPCR検査を実施する場合は任意検査となり、費用は全額自己負担となる。任意検査の実施には最上保健所と新庄市最上郡医師会が協議し、最上地域では対応できる医療体制ではないとの結論に至っており、実施は困難である。また、行政検査の経費の負担割合は国が2分の1、都道府県等が2分の1であるため、全国知事会において全額国庫負担で実施するよう要請している。

◎北辰小は、洪水浸水想定区域にもなっている。体育館が浸水することもあるので、校舎も避難所として使えるように地域交流センターに転用し、活用すべきではないか。

教育長　明倫学園の学校建設事業では、公共施設等適正管理推進事業債の集約化・複合化事業を活用している。この起債の適用を受けるには、集約化・複合化後の新しい施設の使用開始から5年以内に対象施設全体の延床面積を事業実施前の面積から減少させなければならず、条件を達成できない場合は交付税措置が見込めず、すでに借り入れているものも一括して償還しなければならない。北辰小跡地の活用については、要望を提出された「北辰学区学校づくり協議会」との調整を進めながら、起債の適用条件を達成していく。

インバウンドや県外への GOTO 事業は中止を

	感染者数	死亡者数
アメリカ	１４７６万人	２８万人
ブラジル	６６０万人	１７万人
インド	９６８万人	１４万人
世界の累計	６７００万人	１５３万人

米ジョンズ・ホプキンス大学の集計 2020 年 12 月 7 日現在

特集 「閉校に思いをよせて」

夢と希望を胸に

明倫中学校生徒会長
安達（あだち） 惺（せい） さん

４月から新庄市立明倫学園が開校します。明倫学園では、小学生と中学生が同じ校舎で過ごすことになります。当然、これまでとは違う学校生活の流れの中で、新たな人との関わり方や義務教育学校としての行事の取り組み方が求められていきます。開校への大きな期待と共に、それ以上の大きな責任を感じています。

僕は、明倫学園の最初の最上級生として、そして最初の生徒会長として、「新たに始まる明倫学園をこんな学校にしたい」という思いが三つあります。

一つ目は、明倫中学校の歴史と伝統を引き継ぎ、「いのちについて深く考えることのできる学校にしたい」ということです。「自分はいのちとどう向き合っていけばいいのか。」「自分はこれからどのように生きていかなければならないのか。」いのちを深く考える日で、僕は何度もそのような答えのない問いについて考えました。考えることは苦しく難しいです。だからこそ、新たな自分の生き方を見つけられるのだと思います。誰もがいのちと向き合い、自分の生き方を模索できる、そんな明倫学園にしていきたいです。

二つ目は、小学生と中学生が共に過ごす中で、「誰もが豊かに関わり合える学校にしたい」ということです。同学年とだけでなく、一年生から九年生までが、学年を越えて関わり合えたなら、毎日の学校生活はこれまで以上に豊かで活発になると思います。いじめがなく、誰もが安心して過ごすことのできる明倫学園でありたい。その思いを胸に、最上級生となる僕たちが中心となって、よりよい人間関係づくりに取り組んでいきたいです。

三つ目は、様々な人との出会いや関わりを大切にし、「地域と共に在る学校にしたい」ということです。これまで明倫中学校は、登下校の見守りや朝のあいさつなど多くの場面で、地域の方々に支えられてきました。僕たちはそんな地域の方々の思いに、どうすれば応えることができるだろう。そう考えたとき、改めてあいさつの大切さに気付きました。これまでも、明倫中生としてあいさつに力を入れてきましたが、これからも一年生から九年生のみんなの、元気で明るいあいさつが響く学校にしていきたいです。

明倫学園を卒業した後、僕たちは夢に向かって、それぞれの進路を進んでいきます。例えそれぞれの進む道は違っていても、自他のいのちを大切にし、多くの人と豊かな関わりをもち、地域の方々と共に生きることができれば、どこにいても自分の人生を輝かすことができるのではないでしょうか。卒業後も、明倫学園の卒業生としての誇りをもって生きていくことができる。そんな明倫学園を自分たちでつくりあげていきたいです。

最後に、明倫中学校での限られた時間を大切にし、明倫学園の開校に向けて、授業はもちろん、生徒会活動やあいさつなどに、誠実に取り組んでいく。それが、これまでの先輩方の思いを受け継ぐことなのだと、僕は思います。

明倫中学校の校舎はやがてなくなります。しかし、明倫中学校が育み続けてきた歴史と伝統は決してなくなりません。これまでの先輩方の思いを受け継ぎ、僕たちは明倫学園開校に向けてさらに成長していきます。

みなさん、夢と希望を胸に、前へ前へと、共に進んでいきましょう。

あとがき

1960年代から学童のインフルエンザ集団接種が行われていたが、1988年に任意接種になり、1994年に中止となった。色々な考えがあることは承知しているが、集団接種を中止することで起こった結果は明らかとなっている。一つは、「学童」に対する集団接種中止後「高齢者」の「超過死亡率」が明らかに上昇したこと。そして、接種されていた学童ばかりか、当時集団接種の対象ではなかった「幼児の」超過死亡も減らしていたことが報告されている。さらに平成23年にワクチン接種率と学級閉鎖日数を調査した検討が報告されいる。それは、ワクチンの接種率が低下すると欠席や学級閉鎖が増え、接種率が上がると欠席や学級閉鎖が減るという集団接種の効果についてである。今季、新型ウィルスへの体制整備として、県内においては、新たに3市2町が加わり、33市町村が小児への予防接種助成を実行した。当市内の医療現場からは、小児への助成を求める声があるということが事実であるが、子ども・子育て支援を重点課題にしている新庄市は、残念ながらこの33市町村に該当していない。

（記・叶内恵子）

議会報編集委員の紹介

委員長　叶内　恵子
副委員長　山科　春美
委員　押切　明弘
　　庄司　里香
　　佐藤　文一
　　佐藤　卓也

■発　行／山形県新庄市議会　　■編　集／議会報編集委員会
■問い合わせ／新庄市議会事務局　〒996-8501　山形県新庄市沖の町10番37号
TEL 0233-22-2111（内線302・303）　0233-23-5002（直通）
FAX 0233-22-0989　E-maiL gikai@city.shinjo.yamagata.jp

VEGETABLE OIL INK　環境にやさしい植物油インキを使用しています